

月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

えくてびあん

〈EKUTEBIAN-VOL.1, DECEMBER 1984-EKUTEBIAN〉

12



まい あーと・ひょうきんビエロ by 西砂児童館の子供たち

Cadeaux de Noël de l'Ekutebian



おはなし、きいているうちに
あかし、ねむくなっちゃって……
気がついたら、ひとりでベッドの中。
ううん、ううん、
ぜったい、ほんと。
だって、あたし
とるところ、ねむりながら
ちゃーんと、きいたんだもの。
小さくなっていく、その鈴の音。

なに、はなしたか、って？
わらうのやめたら、はなしてあげる。
……

あのね、とおい、北の国のこと。
すっぽり、雪につつまれた山のこと。
世界中の子供たちのための
たくさんのプレゼントのこと。
あたし？ あたしには
ほかほか毛糸の手ぶくろだったわ。

聖夜

詩・矢部美智代
絵・山室正男

わらっちゃだめよ
約束してね。

きのうの夜、眠っていたら
まぐらもぐで、カタカタ音がしたの。
どきっとしたわ。
どろぼうかしら、って。
でもね、ちがったの。
誰だと思っ？

あのね……サンタクロース。

わらっちゃ、だめだって。
ほんとなんだから。
ううん、ちがうわ。
パパじゃなかったわ。
あかし、おはなししたから
まちがうはず、ないじゃない。



わらってびあん・クリスマスの贈りもの



「第九」サミット

「ハートウエーン」

夢まぢか、三多摩市民合唱団

そのものは登りがいのある大きな山ですが、なんととっても郡司先生の魅力でここまでひっぱりこられたと思います」

郡司博一「三多摩市民合唱団」の常任指揮者である。四〇〇人の団員の気持をしっかりとつかんで難くない。タマシイまでハートウエーンの所へつれて行ってくれるのかうである。

それだけに、練習は厳しいものがある。

「第九」は合唱曲の中でも最高のテクニクを要する。日本には完全にやれる

アマチュアなのだから、それぞれの仕事、そして世間のシガラミという大きなお荷物もかかえての特訓、それに耐えるのだ。

取材当日、最高齢は佐野廣さん(60歳)だった。

「三年目になります、自分で『第九』が唱えるなんてユメのよう」と元気はつらつ。

逆に最年少の佐藤敬君(小六)は「初めは、先生がステキだな。ドイツ語?よくわかんないけど、少し発音ができるようになったよ」

立川(曙町3丁目)からきている北川奈美さん、(OL)は「今年で2回目。学生時代から合唱はやってたけど、就職したら機会がなくて。ある日、新聞でここを知りました。楽しいです」とにっこり。

合唱団そのもののキャリアは5年目、6回目の公演になる。

大場孝世さん(柴崎町4丁目)



郡司博一を囲んで合唱団員



藤田 義典さん

「お申し込みは「えくてびあん」コンパニオン(本誌を手渡ししてくれた人)へ。」

●立川市民(成人)に限らせて頂きます。

●御本尊、真如宝物館のご案内をはじめ、映画など盛りだくさんの用意がしてございます。

●立川市民(成人)に限らせて頂きます。

●お申し込みは「えくてびあん」コンパニオン(本誌を手渡ししてくれた人)へ。

立川の方々により一層のご理解をいただきたくお願い、真如苑では月に一度精舎のご案内をさせて頂いております。師走のお忙しい中ですが、ぜひ今月もおこし下さい。

●日時 12月15日 午後3時から5時まで

●御本尊、真如宝物館のご案内をはじめ、映画など盛りだくさんの用意がしてございます。

●立川市民(成人)に限らせて頂きます。

立川地域文庫やお話の会を開いている「立川地域文庫連絡会」では、3回連続の講演会を企画している。

●(第一回) 11月29日 田島征三氏(絵本作家)「絵本とわたしの世界」

●(第二回) 12月7日 菊地正氏(児童文学者)「子供と民話」

●(第三回) 12月13日 松岡享子氏(東京こども図書館理事長)「子どもと読書」

いずれも午前10時~12時、高松公民館にて。無料。

立川伝言板

自分ではやるのが「丸信サービス」でも本職に頼むほどのことでもない、そんな仕事がたくさんある毎日。たとえば、雨どいの修理と掃除、ドブ・池・下水などの掃除、不要庭木の処分、風呂場のカビ取り、etc.

これらなんでもやってくれるのが「丸信サービス」(27-4446)。手に余ることがあったら、とにかく電話をしてみれば?お酒を飲んだ時の運転代行もOKという便利さ。

●丸信サービス(真如苑参道)が歩道完成記念に特別発売!

クリスマスが、清い夜。かどうかは、人によりけりだが「きよしこの夜」は毎年、日本中の商店街に鳴りわたる。

信仰とは別に、もはや日本人の生活カレンダ―の中に組み込まれた行事。

澄みきった夜空に、満天の星をいただいて、無数の天使たちが見守るなか、救いの御子キリストはこの世に生まれ給うた。この記念すべき日を祝う行事がクリスマスである。

ところが「十二月二十五日」に行なわれるようになったのは、キリスト没後三〇〇年以上も経ってからのことといわれる。

もともと、この日は古くから太陽神の祝祭が行なわれていた。時期あたかも冬至にあたり、長かった夜はこの日から減少をはじめ、増大する昼と共に太陽はいよいよ輝きを増してゆく……。

そして、サンタクロースのおじさんは世界中の子どもたちに、大きなユメを運んでくれた。

クリスマスは、日本では戦後になって一般にゆきわたるようになり、歓楽街では夜通しのドンチャン騒ぎがしばらく続いた。

しかし、最近のクリスマスは大人数だけの、しかも男たちだけの天国。ではなく、家族団らんの図が目立つ。一大進歩といえよう。

しかし、この時期にはご用心。七面鳥、クリスマスケーキに続いて忘年会あり、間髪を入れずにおせち料理とくる。サイフは軽くなる、体重はおもくなる。

もう一人の私

あの「ねむり姫」の主人公が、舞台を降りてマスクをとったら、こんな顔があらわれた。舞台から想像していたような方でもあり、ないようでもあり……。

木馬座、中村ひでみさん。

夏冬を問わず舞台が終わると、びっしょりの汗をかきかきという。「高校生の頃から、もう十二年になるんです、この仕事」。

木馬座といえば、児童演劇のクサワケ的存在だが、その中でもいまやベテランに成長してきた中村さんである。

クラシック・バレエもやっていて、というより「順序は逆で、バレエが先だったんです。芝居の方に紹介されて、そのまま居座ったって感じかな」。

いたずらっぽく、笑った。

編集室から

●自分の作品を謙遜しているのだから「メルヘン」ばくなっちゃうて」という人がいる。莫迦いっちゃいけない。そんな生やさしいもんじゃないうでよ、メルヘンって。宮澤賢治をみなさい、エーリッヒ・ケストナーを読みみなさい。●べちゃべちゃした、まずい蕎麦を「饅頭みたい」という人がいる。「まずい蕎麦」という人がいる。●今号のカラーは全てメルヘンの試みである。成否の別はさておき、力作をよせて下さった方々に御礼申し上げます。●はやくも師走の風が立川にも。新年号では、ありそうでない「立川地図」をお届け致そう。なんのヘンテツもない地図だが、それだけに、いつかきつと地味ながら、お役に立ちます。

多摩最大の店舗網

みなさまの暮らしやニーズに合わせて、幅広いサービスにとつめています。

多摩のマイバンク

たましん

多摩中央信用金庫

本店 〒190 立川市曙町2-8-28
☎(0425) 26-1111 (代)

クリスマス

豆事典

クリスマス

クリスマスは、日本では戦後になって一般にゆきわたるようになり、歓楽街では夜通しのドンチャン騒ぎがしばらく続いた。

しかし、最近のクリスマスは大人数だけの、しかも男たちだけの天国。ではなく、家族団らんの図が目立つ。一大進歩といえよう。

しかし、この時期にはご用心。七面鳥、クリスマスケーキに続いて忘年会あり、間髪を入れずにおせち料理とくる。サイフは軽くなる、体重はおもくなる。

「えくてびあんソックス」を特別価格で

●ホマレヤ(諏訪通り) 同店では「鉄の靴下」(命名・加賀祝也氏・富士見町五丁目在住)と呼ばれている丈夫なソックスを本号購読期間(12月25日まで)に限って特別価格(四足、〇〇〇円で販売する。学生、セールスに歩かされる方などおいて。加賀氏によれば同色を求めておくと、方がアナがあいても他の片方を利用して便利とか。その名も「えくてびあんソックス」として新登場。黒、茶、紺、グレーの4色。



木馬座

おひめ

んできて私たちも熱
いものを感じます。
これからもう挨拶し
て下さいね。

このシーンは木馬座公演の「マツチ
売りの少女」「ねむり姫」のうち、ねむ
り姫の方です。王子が魔ものをやっつけ
て魔法がとけ、姫の眼目を目覚めさせた
ところですよ。え？ 姫の役が私なんです。マ
スクをかぶっているのかわかりませんが、演
じている時の表情は普通の芝居と同じで、マ
スクの中でいろんな顔つきになってるんです
ね。ごく自然にそうなるんです。声ですか？
声の方はマスクの下から出すわけにはいかないの
で、あらかじめテープにとっておいたものを流す
んです。立川市民会館という大きな舞台でしたが、
立川の子供たちが喜んでくれて本当にうれしかった。
子供は正直だから、面白いとき居の中にのめり込

